

ARIBからのお知らせ

ワイヤレス・テクノロジー・パーク2009の開催とARIB出展のお知らせ

ワイヤレス・テクノロジー・パーク（WTP）は、無線通信技術の先端分野で研究開発に取り組む国内および海外主要国からの産官学の諸団体が一堂に会し、最先端あるいは研究段階における技術の事業化や標準化の推進を加速すると共に、海外の行政機関、民間企業との交流促進を通じて新しい技術を生み出すイベントです。

今回で第4回となる「ワイヤレス・テクノロジー・パーク2009」が、パシフィコ横浜で開催されます。<<http://www.wt-park.com/>>

当会は同イベントを後援すると共に、ARIBブースを設け最近の活動等の展示を行います。

ぜひ、お立ち寄りください。

1 会期：2009年5月12日(火)・13日(水) 10:00~18:00 (最終日は17:30終了)

2 会場：パシフィコ横浜 ホールC

3 入場：来場者事前登録制

入場が無料になる事前登録はこちらから入力

<<http://www.wt-park.com/index.html>>

4 会場へのアクセス：みなとみらい駅から徒歩3分、または桜木町駅より徒歩12分

5 ARIB出展内容

(1)電波産業会の事業概要を紹介

(2)電波利用システムの調査・研究・開発及び標準規格の策定等の取り組みを紹介

(3)情報通信技術に関する外国機関との連携や、普及啓発・国際競争力強化への取り組みを紹介

ARIBの動き

第150回業務委員会を開催

第150回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

1日 時 平成21年4月8日(水) 午後2時から3時20分まで

2場 所 当会第2会議室

3議 事 概 要

次の事項について事務局から報告、説明等がありました。

(1)照会相談業務

(2)FM文字多重放送改善調査研究会の活動終了

(3)「デジタル日本創生プロジェクト (ICT鳩山プラン) - 骨子 - 」

(4)3.9世代移動通信システムの導入のための特定基地局の開設計画等の認定申請の受付

(5)当会の活動状況

電気通信・放送行政の動き

アナログ放送終了後のデジタルチャンネルの再編について
～「チャンネル再編予定表」を更新～

(平成21年4月3日総務省報道発表)

総務省及び全国地上デジタル放送推進協議会は、2011年7月の地上アナログテレビジョン放送の終了後に計画されているデジタルチャンネルの再編作業に関する予定表を更新しましたので公表します。

1 デジタルチャンネルの再編作業を行う理由

現在、アナログテレビジョン放送とデジタルテレビジョン放送を同時に行うサイマル放送を実施しているため、テレビジョン放送で使用できる周波数は非常に逼迫している状況にあります。このため、一部の地域では、本来は13チャンネルから52チャンネルまでを使用することとなっているデジタル放送について、一時的に53チャンネルから62チャンネルまでも使用して放送を実施しています。

したがって、2011年7月のアナログ放送終了後、この53チャンネルから62チャンネルまでを使用しているデジタル放送の中継局は、本来の13チャンネルから52チャンネルまでに短期間で集中的に再編する作業を行う必要があります。

2 デジタルチャンネルの再編による影響

再編が行われる地域では、アナログ放送終了後の2011年7月25日から2012年7月24日の間にデジタル放送を行う中継局のチャンネルの一部が切り替わります。切替えの実施時期や方法は、地域によって異なります。

また、切替えに伴う受信者等への影響は次のとおりです。

(1) 受信世帯への影響

デジタル放送の中継局のチャンネルが切り替わっても、お使いのデジタル受信機（デジタルテレビ、デジタルチューナー、デジタルチューナー内蔵の録画機など）はそのままお使いいただけますが、チャンネルの設定を変更（これを“再ス

キャン”といえます。)する必要があります。

なお、デジタル受信機の一部については、特別な操作をしなくても自動的にチャンネル設定変更に対応する機種もございます。

(2) 共聴施設への影響

デジタル放送の中継局のチャンネルが切り替わっても、集合住宅共聴施設については、基本的にはそのままお使いいただけます。

一方、受信障害対策共聴や辺地難視対策共聴施設については、共聴施設のヘッドエンド部（デジタル放送の受信装置）が切替後の新しいチャンネルに対応していない場合は、切替時に改修工事が必要となります。

3 「チャンネル再編予定表」の更新

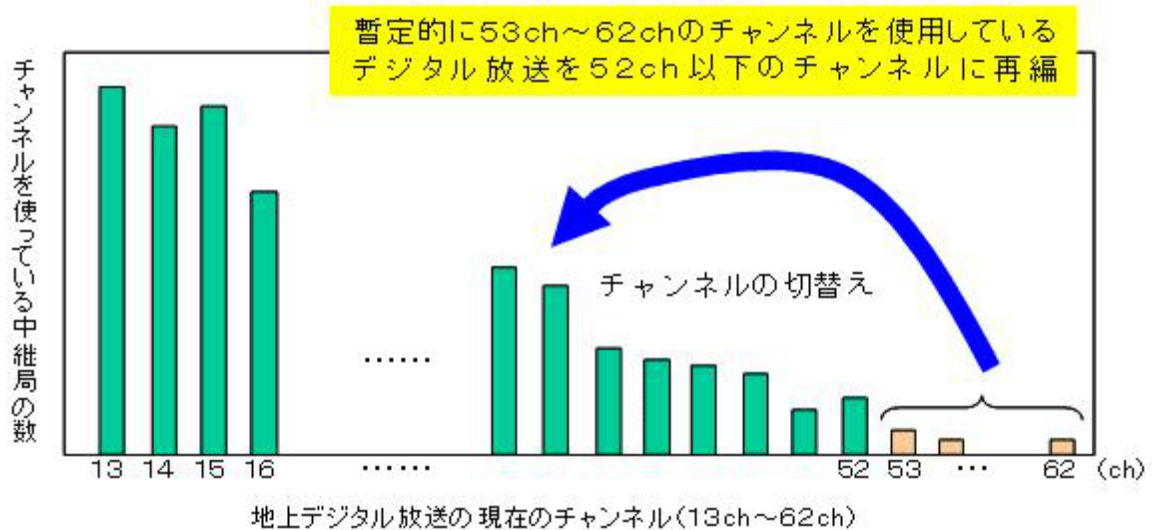
チャンネル再編の計画については、昨年3月「チャンネル再編予定表」として公表していますが、このたび最新の予定表を策定しました。

予定表：<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/2009/pdf/090403_02_bt.pdf>

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/090403_02.html>をご参照ください。

別紙

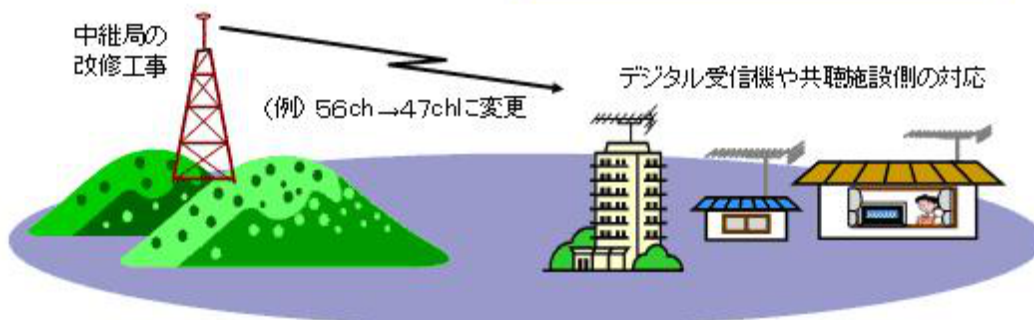
1 地上デジタル放送のチャンネルを再編するイメージ



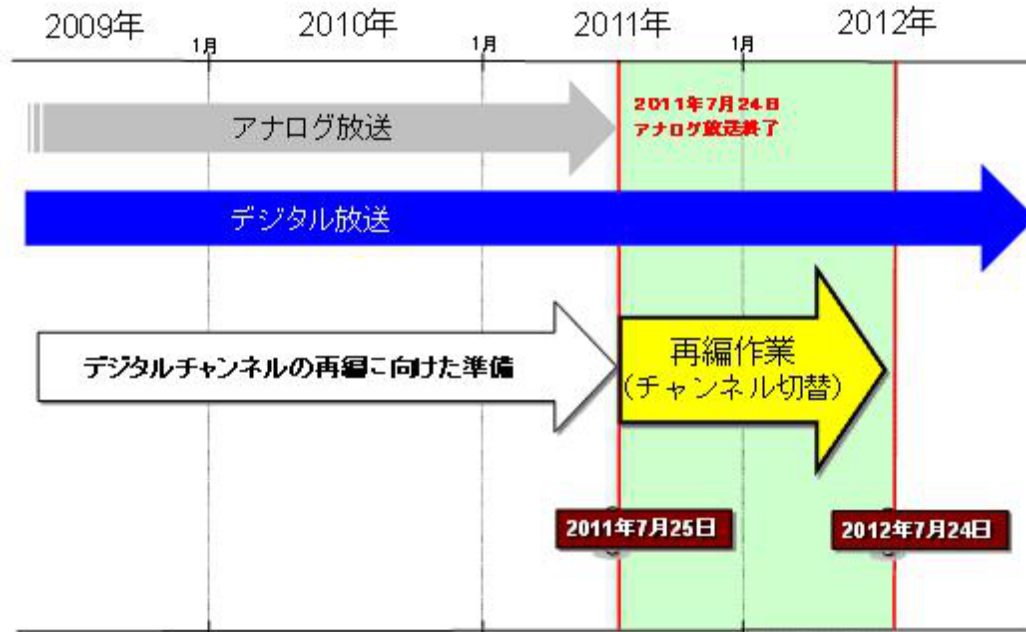
2 デジタルチャンネルの切替えのイメージ

53ch以上のチャンネルを使用する地上デジタル放送の中継局

2011年7月25日から2012年7月24日の1年間で52ch以下のチャンネルに切替え



3 デジタルチャンネルの再編スケジュール



平成21年度 電波の安全性に関する評価技術に係る提案の公募

(平成21年3月27日総務省報道発表)

総務省は、平成21年度における電波の安全性に関する評価技術の調査研究を委託するにあたり、次のとおり提案を公募します。

1 公募期間

平成21年3月27日（金）から平成21年4月20日（月）まで

2 公募を行う評価技術課題及び実施予定額

本評価技術の調査研究は、電波利用料財源を用いて実施することを予定しているもので、電波の安全性に関する評価技術課題を指定した上で本評価技術に係る提案を公募・採択し、民間企業等の研究機関に委託するものです。

平成21年度は、次表の2つの評価技術課題に対する提案を公募します。なお、実施予定額上限については、表中実施予定額を想定していますが、外部評価の結果等を踏まえ確定します。

なお、採択件数は、原則として1評価技術課題あたり1件となります。

評価技術課題	平成21年度実施予定額 (実施予定額上限)
電波の人体への安全性に関する評価技術	6.2億円程度
電波の電子機器等への影響に関する評価技術	0.7億円程度

3 委託先の選定

委託先の選定については、外部評価を行い、その結果を受けて総務省が行います。

4 今後のスケジュール

今後のスケジュールは、以下を想定しておりますが、外部評価の状況等により

前後することがあります。

4月下旬 外部評価を行い、これをもとに委託先候補となる研究機関を選定

4月末 採択・不採択通知の送付

採択通知 研究機関との調整が終わり次第、速やかに契約を締結し、評価技
後 術を実施

問い合わせ、提出先及び詳細は、下記のURLをご参照下さい。

< http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/090327_4.html >

編集後記

桜の花見に出かけられましたか。関東では、平年に比べ開花が1週間も早かったにもかかわらず、その後気温の低い日が続き満開日がほぼ平年並みとなりました。いつもより長い期間観賞ができ、得をしたような気分でした。以前は、家族で桜の名所に出かけていましたが、花粉症の時期と重なるため、ここ数年間は名所に行くことは控え、通勤時に観賞する寂しい花見になっています

(HK)

[ページの先頭に戻る](#) ▲